

経営情報 2020.11月

よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES

Monthly Report

(東証1部 コード9616)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「経営情報 Monthly Report」は、株主様をはじめとするステークホルダーの皆さまに、より弊社をご理解いただくとともに、皆さまのご意見を経営に反映させていただくことを目的として、発信させていただいております。

なお、12月の経営情報は、2021年2月9日に公表予定の「2021年3月期 第3四半期決算短信」にかえさせていただく予定です。
共立メンテナンスグループ

セグメント別(事業別) 売上状況

11月の状況につきましては、GO TO トラベルキャンペーンやコロナ感染防止に対応した当社独自の新商品等が功を奏し、ホテル事業が前月より更に回復したことに加え、総合ビルマネジメント事業等の伸長もあり、グループ売上高は単月で138.6億円となり前期比98%まで回復しております。累計では前期から27%の減収となっておりますが、前月より更に差を縮めております。

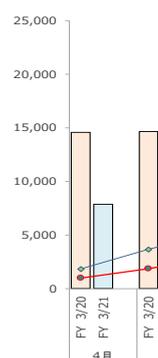
GO TO トラベルキャンペーン等に後押しされたリゾート事業は、稼働率及び客室単価が着実に伸長し、単月売上高が前期から14%の増収となりました。ドーマーイン事業は、GO TO トラベルキャンペーンの対象外とされた札幌・大阪エリアの影響を吸収し、客室単価の上昇(約12%)に伴い減収幅を縮めております。一方で、寮事業につきましては、留学生の訪日延期などがあり期初稼働率は93.7%(前期比5.0PP減)でスタートしましたが、その回復が遅れております。

今後も全社を挙げて新型コロナウイルスの感染防止策を徹底したうえで、一層の回復を目指して参ります。

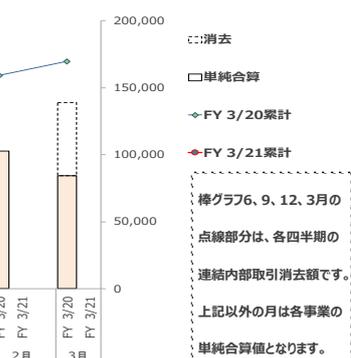
単位：百万円(百万円未満切捨て表示)

	前年同期実績	2020年11月実績(単月)		前年同期実績	2020年11月実績(累計)	
		対前期			対前期	
寮事業	3,941	3,613	-328 -8%	33,142	30,792	-2,350 -7%
学生寮	1,978	1,790	-187 -9%	16,542	15,084	-1,457 -9%
社員寮	1,142	1,027	-114 -10%	10,027	9,374	-652 -7%
ドミール	417	432	+15 +4%	3,385	3,530	+144 4%
受託寮	403	362	-41 -10%	3,186	2,801	-384 -12%
ホテル事業	7,103	6,521	-582 -8%	56,814	31,279	-25,535 -45%
ドーマーイン事業	4,264	3,245	-1,018 -24%	33,851	16,601	-17,249 -51%
リゾート事業	2,839	3,250	+410 +14%	22,684	14,540	-8,143 -36%
その他	0	25	+25 +5,993%	278	136	-142 -51%
総合ビルマネジメント事業	1,128	1,453	+325 +29%	10,359	9,907	-451 -4%
フーズ事業	659	667	+8 +1%	4,927	3,578	-1,349 -27%
デベロップメント事業	183	304	+120 +66%	16,049	9,131	-6,917 -43%
不動産流動化事業	-	-	- -	9,238	-	-9,238 -
その他	183	304	+120 +66%	6,811	9,131	+2,320 34%
その他事業	1,089	1,308	+219 +20%	8,608	9,976	+1,367 16%
PKP事業	568	781	+213 +38%	4,622	5,906	+1,283 28%
シニアライフ事業	136	134	-1 -1%	1,095	1,077	-17 -2%
その他	384	392	+7 +2%	2,891	2,992	+101 4%
合計	14,106	13,868	-237 -2%	129,903	94,665	-35,238 -27%

単月売上高(百万円)



累計売上高(百万円)



(注1) ここに表記している当期の計数情報は、監査法人による会計監査受検前のグループ各社の売上高(速報ベース)を単純合計したものであり、連結内部取引消去前ベースです。従って、後日確定する財務数値と差異が生じる可能性があります。

(注2) 上記グラフは、四半期末以外の月の単月売上高は注1に記載の売上高ベースで、各四半期末月の単月売上高は当該四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。なお、累計売上高(折れ線グラフ)につきましては、経過した各四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。